

# 事務事業評価シート1

評価年度 令和4年度 進捗区分 2次評価

所属 3010000 環境部環境政策課  
短縮番号 00292 環境意識啓発事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画/後期基本計画	
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち	
政策達成課題	001	豊かな自然を保全する	
施策	001	環境意識の向上を図る	
施策達成課題	001	環境意識の向上を図る	
基本事務事業	002	環境意識啓発事業	
詳細事務事業	001	環境意識啓発事業	

事業期間	平成25年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等 熊谷市総合振興計画、熊谷市環境基本計画

課題・分析 環境学習に関して、キッズISOに代わる環境教育素材の検討や啓発方法を模索しなければならない。

【事業分析】

対象	小・中・高校生、団体・企業
目的	環境講座等を実施するとともに、子ども達の環境学習活動及び地域や環境団体による環境保全活動を支援することにより、環境問題への理解と環境意識の向上を図る。
手段	市・企業・団体等で組織するエコライフフェア実行委員会に対する支援を行う。また、小学6年生を対象に環境教育支援プログラム「キッズISO」を導入するほか、環境教育講座、環境施設見学会、自然観察会等を実施するとともに、こどもエコクラブ活動の支援等を行う。さらにくまがや環境賞表彰を行う。
その他	

【コスト】 (単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	5,353	6,419	770	1,123	0	0	0
事業費	3,240	3,081	770	1,123	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,240	3,081	770	1,123	0	0	0
人件費計	2,113	3,338	0	0	0	0	0
一般職員(人)	0.28	0.44	0.43	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-04-01-00-00	環境意識啓発事業	環境部環境政策課

# 事務事業評価シート2

評価年度 令和4年度 進捗区分 2次評価

所属 3010000 環境部環境政策課  
短縮番号 00292 環境意識啓発事業

【定量評価】

指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
環境講座等の実施回数	回	7.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		14.00	17.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
環境講座等の受講者数	人	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		484.00	264.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
キッズISOプログラム配布数	冊	1,700.00	1,700.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		1,609.00	1,591.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
回収率	%	90.00	90.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		89.00	88.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
		5	4	
1 事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
		4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
		3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
		2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
		1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由				
2 事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
		4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
		3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
		2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
		1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由				
3 事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	3
		4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
		3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
		2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
		1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由				
4 事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
		4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
		3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
		2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
		1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由				
5 事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	3
		4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
		3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
		2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
		1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由				

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント(400文字)	エコライフフェア開催にあたり、イベント会場や備品借上料が高騰しており、予算の拡大が必要。キッズISO14000プログラム入門編に変わる環境教育の教材検討を引き続き行う。		

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント(400文字)			

# 事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
 所属 302000 環境部環境推進課  
 短縮番号 00293 美しい街づくり推進事業

### 【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画/後期基本計画				
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち				
政策達成課題	001	豊かな自然を保全する				
施策	001	環境意識の向上を図る				
施策達成課題	001	環境意識の向上を図る				
基本事務事業	003	美しい街づくり推進事業				
詳細事務事業	001	美しい街づくり推進事業				

事業期間	平成25年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	熊谷市路上等の喫煙及び吸殻の散乱に関する条例				
課題・分析	平成18年10月1日の「熊谷市路上等の喫煙及び吸殻の防止に関する条例」の施行後、路上喫煙禁止区域内において路上喫煙者及び吸殻のポイ捨て件数は、大きく減少している。				

### 【事業分析】

対象	市民				
目的	道路等における喫煙マナー及び環境美化意識の向上を図り、安全で、快適な歩行空間及び清潔な地域環境を確保することを目的とする。				
手段	条例施行にあわせ熊谷駅及び籠原駅の周辺を路上喫煙禁止区域に指定、路面シールによる表示とともに指定喫煙場所を設置。課員による喫煙マナー指導パトロールを実施。指定喫煙所の清掃等維持管理は、シルバー人材センターへ委託。喫煙マナー啓発を推進するため、イベント主催者等に啓発用物品を貸与。				
その他					

### 【コスト】

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	5,217	5,315	2,586	2,602	0	0	0
事業費	2,198	2,280	2,586	2,602	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,198	2,280	2,586	2,602	0	0	0
人件費計	3,019	3,035	0	0	0	0	0
一般職員(人)	0.40	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

### 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-12-01-00-00	美しい街づくり推進事業	環境部環境推進課

# 事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
 所属 302000 環境部環境推進課  
 短縮番号 00293 美しい街づくり推進事業

### 【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
路上喫煙禁止区域内の喫煙者数減少率	%	95.00 0.00	95.00 97.40	95.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	
路上喫煙禁止区域内のポイ捨て吸殻本数減少率	%	80.00 70.29	80.00 77.70	80.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	

### 【定性評価】

1	事中評価	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
				5	4	
1	事中評価	事業の優先度	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
				4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
				3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
				2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
				1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由					
2	事中評価	事業の必要性	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
				4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
				3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
				2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
				1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由					
3	事中評価	事業主体の妥当性	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	4
				4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
				3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
				2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
				1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由					
4	事中評価	事業の対象者	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	4
				4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
				3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
				2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
				1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由					
5	事中評価	市民ニーズの把握	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	3
				4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
				3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
				2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
				1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由					

### 【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント(400文字)		

### 【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント(400文字)		

# 事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
 所属 4030000 都市整備部公園緑地課  
 短縮番号 01159 みどりを育む市民ふれあい事業

### 【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画		
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち		
政策達成課題	001	豊かな自然を保全する		
施策	001	環境意識の向上を図る		
施策達成課題	001	環境意識の向上を図る		
基本事務事業	004	みどりを育む市民ふれあい事業		
詳細事務事業	001	みどりを育む市民ふれあい事業		

事業期間	平成24年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	都市緑地法
課題・分析	平成27年度策定「熊谷市緑の基本計画（改訂版）」のリーディングプロジェクトにある「市民と協働のみどりのまちづくり」に基づき、市民の自発的な緑の関わりを促進し、それなりの成果はでているが、各種行事等への参加者に偏りがある。

### 【事業分析】

対象	市民
目的	緑化意識の高揚を図る。
手段	市民の緑化活動へのきっかけとなる事業や普及啓発活動の推進に寄与できる取組みを行う。
その他	別府沼公園において自然観察会を開催するほか、小学生による樹木板の設置やみどりの集会等の開催、人生記念樹等の配布を行う。

### 【コスト】

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	4,123	4,192	2,044	2,044	0	0	0
事業費	349	398	2,044	2,044	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	163	30	235	0	0	0	0
一般財源	186	368	1,809	2,044	0	0	0
人件費計	3,774	3,794	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

### 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-05-36-01-00-00	みどりを育む市民ふれあい事業	都市整備部公園緑地課

# 事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
 所属 4030000 都市整備部公園緑地課  
 短縮番号 01159 みどりを育む市民ふれあい事業

### 【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
自然観察会等開催回数	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
		2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
自然観察会等参加者数	人	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	
		23.00	32.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
人生記念樹配布回数	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	
		3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
人生記念樹等配布数	本	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		103.00	103.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

### 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク		
1	事中評価	事業の優先度	5	4	
			4		他の事務事業に優先して実施する必要がある
			3		今後しばらくの間、継続して実施する必要がある
			2		どちらかといえば、実施したほうがよい
			1		目的がある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり
理由		事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した			
2	事中評価	事業の必要性	5	2	
			4		市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである
			3		安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである
			2		安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである
			1		豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである
理由		市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する			
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	4	
			4		他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし
			3		他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ
			2		他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している
			1		本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る
理由		本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る			
4	事中評価	事業の対象者	5	5	
			4		直接の対象は、すべての市民又は団体である
			3		直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体
			2		直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である
			1		直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である
理由		直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である			
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	3	
			4		事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している
			3		事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している
			2		事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している
			1		事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している
理由		事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない			

### 【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)			

### 【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

# 事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価

所属 3010000 環境部環境政策課

短縮番号 00925 ムサントミヨ保護事業

### 【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画/後期基本計画		
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち		
政策達成課題	001	豊かな自然を保全する		
施策	002	緑と水辺環境を保全する		
施策達成課題	001	緑と水辺環境を保全する		
基本事務事業	004	ムサントミヨ保護事業		
詳細事務事業	001	ムサントミヨ保護事業		

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	
課題・分析	

### 【事業分析】

対象	ムサントミヨ（世界で熊谷市だけに生息している希少魚）
目的	保護・増殖及び普及・啓発を図る。
手段	生息域を学区に持つ市内3つの小中学校（久下小、佐谷田小、熊谷東中）を対象に、ムサントミヨの保護・増殖のための業務委託を行う。ムサントミヨが生息する河川の水质検査や文化財指定区域の草刈り等を行い、生息環境の整備を行う。熊谷市ムサントミヨ保護センターの維持・管理を行う。その他、ムサントミヨに関する普及・啓発を行う。
その他	

### 【コスト】

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	10,025	9,675	8,152	4,931	0	0	0
事業費	4,515	3,984	8,152	4,931	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	769	1,014	1,105	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,746	2,970	7,047	4,931	0	0	0
人件費計	5,510	5,691	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.73	0.75	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

### 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-35-01-00-00	ムサントミヨ保護事業	環境部環境政策課

# 事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価

所属 3010000 環境部環境政策課

短縮番号 00925 ムサントミヨ保護事業

### 【定量評価】

指標名		単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
増殖委託先小中学校の数	校		3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
増殖委託事業による確認個体数	尾		650.00	650.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			517.00	579.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
保護センター見学団体	団体		20.00	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
保護センター見学者	人		320.00	320.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			63.00	64.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

### 【定性評価】

カテゴリ		評価の観点	基準	ランク	
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	4
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

### 【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)	建築基準法第12条に基づく定期点検を実施する。		

### 【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

# 事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
 所属 3010000 環境部環境政策課  
 短縮番号 01771 クビアカツヤカミキリ被害拡大防止事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち
政策達成課題	001	豊かな自然を保全する
施策	002	緑と水辺環境を保全する
施策達成課題	001	緑と水辺環境を保全する
基本事務事業	011	クビアカツヤカミキリ被害拡大防止事業
詳細事務事業	001	クビアカツヤカミキリ被害拡大防止事業

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等	熊谷市環境基本計画
課題・分析	クビアカツヤカミキリの被害が市内でも確認されており、被害木の伐採等による蔓延防止が急務となっている。しかし、個人所有の被害木に対しては所有者の対策に頼っており思うように防除が進まないのが現状である。そのため、被害木の所有者に対する補助制度を創設し、被害木の伐採や薬剤による防除を推し進め、被害拡大防止を図る。

【事業分析】

対象	市内に樹木を有する者
目的	クビアカツヤカミキリの被害木の伐採、薬剤防除費用を補助する。また、クビアカツヤカミキリの成虫を駆除することで、被害拡大を防止する。
手段	クビアカツヤカミキリの被害木の伐採、薬剤防除費用を補助する。また、クビアカツヤカミキリの成虫を駆除したものに奨励品「まち元気」熊谷市商品券を交付する。
その他	

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	2,796	3,913	2,600	3,530	0	0	0
事業費	1,287	2,320	2,600	3,530	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	312	168	1,300	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	975	2,152	1,300	3,530	0	0	0
人件費計	1,509	1,593	0	0	0	0	0
一般職員(人)	0.20	0.21	0.22	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-60-01-00-00	クビアカツヤカミキリ被害拡大防止事業	環境部環境政策課

# 事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
 所属 3010000 環境部環境政策課  
 短縮番号 01771 クビアカツヤカミキリ被害拡大防止事業

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
クビアカツヤカミキリ被害拡大防止補助金交付件数		50.00	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		46.00	65.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

1	事中評価	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
				5	4	
1	事中評価	事業の優先度	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
				4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
				3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
				2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
				1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	事中評価	事業の必要性	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
				4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
				3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
				2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
				1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	事業主体の妥当性	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	4
				4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
				3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
				2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
				1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	事中評価	事業の対象者	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	4
				4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
				3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
				2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
				1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	市民ニーズの把握	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	4
				4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
				3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
				2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
				1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント(400文字)	被害拡大防止のため、補助金と奨励品交付を継続する。		

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント(400文字)			

# 事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
 所属 3010000 環境部環境政策課  
 短縮番号 00304 大気等検査事業

### 【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画/後期基本計画		
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち		
政策達成課題	002	生活環境を保全する		
施策	001	公害のないまちをつくる		
施策達成課題	001	公害のないまちをつくる		
基本事務事業	002	大気等検査事業		
詳細事務事業	001	大気等検査事業		

事業期間	平成30年度～令和4年度	5年間			
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等 環境基本法・大気汚染防止法・水質汚濁防止法・騒音規制法・悪臭防止法・埼玉県生活環境保全条例  
 課題・分析 環境大気調査では、全地域において環境基準を達成した。河川水質調査では、環境基準を上回る項目（大腸菌群数など）がある為、継続監視を行う。

### 【事業分析】

対象	公害関係法令に規定する工場及び事業場
目的	大気及び水質等の環境保全
手段	工場・事業場を定期的に監視し、大気・水質等に係る規制及び指導等を行う。 環境大気・水質等に係る汚染状況を把握するため、事業ごとに環境計量証明事業者と委託契約を結び、計測分析を行う。
その他	

### 【コスト】 (単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	57,119	51,906	22,587	21,769	0	0	0
事業費	20,059	20,796	22,587	21,769	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	20,059	20,796	22,587	21,769	0	0	0
人件費計	37,060	31,110	0	0	0	0	0
一般職員(人)	4.91	4.10	4.06	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

### 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-05-03-01-00-00	大気等検査事業	環境部環境政策課

# 事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
 所属 3010000 環境部環境政策課  
 短縮番号 00304 大気等検査事業

### 【定量評価】

指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
大気関係事業場への立入検査	件数	55.00 62.00	55.00 67.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00
排出基準の達成率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
水質関係工場等への立入検査	件数	120.00 114.00	120.00 104.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00	120.00 0.00
排水基準の達成率	%	100.00 88.00	100.00 87.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

### 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
		5	4	
1 事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
		4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
		3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
		2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
		1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由				
2 事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	5
		4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
		3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
		2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
		1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由				
3 事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	4
		4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
		3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
		2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
		1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由				
4 事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
		4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
		3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
		2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
		1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由				
5 事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	4
		4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
		3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
		2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
		1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由				

### 【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)			

### 【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

# 事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
所属 3020000 環境部環境推進課  
短縮番号 00306 畜犬登録等実施事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画		
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち		
政策達成課題	002	生活環境を保全する		
施策	001	公害のないまちをつくる		
施策達成課題	001	公害のないまちをつくる		
基本事務事業	004	畜犬登録等実施事業		
詳細事務事業	001	畜犬登録等実施事業		

事業期間	平成25年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	熊谷市狂犬病予防法施行細則、狂犬病予防法、埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例				
課題・分析	注射率が上がるよう事業を実施していく。				

【事業分析】

対象	飼犬（飼い主）
目的	犬の登録及び狂犬病予防注射の100%実施
手段	犬の登録（鑑札の交付）、注射済票の交付、狂犬病予防集合注射の実施
その他	

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	5,099	5,478	709	710	0	0	0
事業費	571	521	709	710	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	571	521	709	710	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	4,528	4,957	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.60	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-05-01-00-00	畜犬登録等実施事業	環境部環境推進課

# 事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
所属 3020000 環境部環境推進課  
短縮番号 00306 畜犬登録等実施事業

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
注射済犬頭数	頭	9,100.00	9,100.00	9,100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		6,778.00	6,824.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
注射率	%	75.00	75.00	75.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		66.15	68.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク	
1	事中評価	事業の優先度	5 他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3 どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2 目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	事中評価	事業の必要性	5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	事業主体の妥当性	5 他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	事中評価	事業の対象者	5 直接の対象は、すべての市民又は団体である	3
			4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	市民ニーズの把握	5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	3
			4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
			3 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント (400文字)		

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント (400文字)		

# 事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
 所属 4025000 都市整備部建築審査課  
 短縮番号 01401 民間建築物アスベスト対策補助事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画/後期基本計画		
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち		
政策達成課題	002	生活環境を保全する		
施策	001	公害のないまちをつくる		
施策達成課題	001	公害のないまちをつくる		
基本事務事業	005	民間建築物アスベスト対策補助事業		
詳細事務事業	001	民間建築物アスベスト対策補助事業		

事業期間	平成31年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等 熊谷市民間建築物吹付けアスベスト等含有調査事業補助金交付要綱

課題・分析	
-------	--

【事業分析】

対象	用途や構造を問わず、全ての民間建築物
目的	民間建築物に施工された吹付けアスベスト等の状況を所有者に認知して頂き、除却等を促進する。
手段	民間建築物に施工された吹付けアスベスト等の含有調査に要した費用の一部を補助する。
その他	

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	327	347	1,000	1,000	0	0	0
事業費	176	196	1,000	1,000	0	0	0
国庫支出金	176	196	1,000	1,000	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	151	151	0	0	0	0	0
一般職員(人)	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-01-39-01-00-00	民間建築物アスベスト対策補助事業	都市整備部建築審査課

# 事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
 所属 4025000 都市整備部建築審査課  
 短縮番号 01401 民間建築物アスベスト対策補助事業

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
補助件数	件	4.00	4.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

1	事中評価	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
				5	4	
1	事中評価	事業の優先度	5	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
				4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
				3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
				2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
				1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由					
2	事中評価	事業の必要性	5	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	5
				4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
				3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
				2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
				1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由					
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	5	他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	5
				4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
				3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
				2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
				1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由					
4	事中評価	事業の対象者	5	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	4
				4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
				3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
				2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
				1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由					
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	3
				4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
				3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
				2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
				1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由					

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント(400文字)		

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント(400文字)		



# 事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
所属 3020000 環境部環境推進課  
短縮番号 00312 汚水対策事業

### 【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画		
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち		
政策達成課題	002	生活環境を保全する		
施策	002	生活排水を適切に処理する		
施策達成課題	001	生活排水を適切に処理する		
基本事務事業	004	汚水対策事業		
詳細事務事業	001	汚水対策事業		

事業期間	平成25年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	浄化槽整備事業費国庫補助金交付要綱、埼玉県浄化槽整備事業補助金交付要綱 合併処理浄化槽整備率は増加傾向にある。				
課題・分析					

### 【事業分析】

対象	下水道事業計画区域外世帯、農業集落排水事業計画区域外世帯（合併処理浄化槽整備設備補助対象区域）				
目的	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため				
手段	単独処理浄化槽及び汲取り便槽から合併処理浄化槽へ転換を促進するため、補助を行う。				
その他	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、住みよい生活環境をつくる。				

### 【コスト】

	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度		令和 7年度		令和 8年度		令和 9年度	
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額	
トータルコスト	22,781	27,387	21,842	26,862	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業費	16,290	20,862	21,842	26,862	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
国庫支出金	7,350	10,081	10,561	12,581	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	5,400	6,800	7,200	9,500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	3,540	3,981	4,081	4,781	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費計	6,491	6,525	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般職員（人）	0.86	0.86	0.86	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

### 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-01-04-01-00-00	汚水対策事業	環境部環境推進課

# 事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
所属 3020000 環境部環境推進課  
短縮番号 00312 汚水対策事業

### 【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
合併処理浄化槽設置整備補助基數	基	50.00	35.00	45.00	43.00	0.00	0.00	0.00	
		27.00	35.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合併処理浄化槽の整備率	%	53.70	54.00	54.30	54.60	0.00	0.00	0.00	
		53.50	54.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

### 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準			ランク
		5	4	3	
1 事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある		4
		4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある		
		3	どちらかといえば、実施したほうがよい		
		2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり		
		1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した		
理由					
2 事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである		2
		4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである		
		3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである		
		2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである		
		1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実寄与する		
理由					
3 事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし		4
		4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ		
		3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している		
		2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る		
		1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る		
理由					
4 事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である		2
		4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体		
		3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である		
		2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である		
		1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である		
理由					
5 事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している		2
		4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している		
		3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している		
		2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している		
		1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない		
理由					

### 【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント (400文字)	令和4年度実績は35基であった。市民負担が少なからず発生するため、大幅に転換が進むことは困難であるが、地道に補助制度の普及啓発を続けることで水環境保全に寄与していきたい。 令和6年度以降は、ムサントミヨ生息区域保全集中転換促進事業を当該事業に統合し、一つの事業で市内全域の合併処理浄化槽への転換を促進することで、埼玉県生活排水処理施設整備構想の目標達成を目指す。	

### 【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント (400文字)		

# 事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
所属 3020000 環境部環境推進課  
短縮番号 00314 し尿汲取事業

### 【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画/後期基本計画
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち
政策達成課題	002	生活環境を保全する
施策	002	生活排水を適切に処理する
施策達成課題	001	生活排水を適切に処理する
基本事務事業	006	し尿汲取事業
詳細事務事業	001	し尿汲取事業

事業期間	平成25年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等 廃棄物の処理及び清掃に関する法律、熊谷市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例  
合併処理浄化槽の整備などに伴い、汲み取り世帯数は減少傾向にあるが、家庭や事業所、公衆施設や市主催行事に使用する仮設便所、または災害時雨入等による緊急汲み取りなど、将来的にし尿の排出が見込まれる。

### 課題・分析

### 【事業分析】

対象	家庭や事業所のし尿汲取世帯及び公共施設
目的	し尿の衛生的処理につとめ、生活環境保全による快適な生活の維持を図る
手段	市内9業者に、し尿汲取収集・運搬業務を許可
その他	家庭等から排出されるし尿を適正に処理するため、市内9業者にし尿汲取収集・運搬業務を許可及び委託。し尿汲取業務の円滑な推進と水環境に対する市民意識の高揚を図るため、熊谷市環境衛生協議会に対し、助成を行う

### 【コスト】 (単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	5,279	5,526	2,042	2,192	0	0	0
事業費	1,581	1,808	2,042	2,192	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	100	0	100	0	0	0	0
一般財源	1,481	1,808	1,942	2,192	0	0	0
人件費計	3,698	3,718	0	0	0	0	0
一般職員(人)	0.49	0.49	0.49	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

### 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-03-02-01-00-00	し尿汲取事業	環境部環境推進課

# 事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
所属 3020000 環境部環境推進課  
短縮番号 00314 し尿汲取事業

### 【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
委託分汲み取り本数	本	2,000.00 876.00	2,000.00 1,406.00	2,000.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
し尿処理量	m <sup>3</sup>	19,800.00 18,951.00	19,800.00 18,299.00	19,800.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

### 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク	
1	事中評価	事業の優先度	5 他事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3 どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2 目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由				
2	事中評価	事業の必要性	5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
			4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5 他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	4
			4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由				
4	事中評価	事業の対象者	5 直接の対象は、すべての市民又は団体である	2
			4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	2
			4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
			3 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由				

### 【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント (400文字)		

### 【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント (400文字)		

# 事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
 所属 302000 環境部環境推進課  
 短縮番号 00983 合併処理浄化槽維持管理費補助事業

### 【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画	
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち	
政策達成課題	002	生活環境を保全する	
施策	002	生活排水を適切に処理する	
施策達成課題	001	生活排水を適切に処理する	
基本事務事業	013	合併処理浄化槽維持管理費補助事業	
詳細事務事業	001	合併処理浄化槽維持管理費補助事業	

事業期間	平成25年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	浄化槽法第7条第1項、第10条第1項、第11条第1項
課題・分析	法定検査受検率（11条）は年々増加し、創設年度（平成22年度）と比較すると、27ポイント上昇した。着実に成果を上げている。

### 【事業分析】

対象	公共下水道供用開始区域及び農業集落排水処理開始区域を除いた区域に設置された居住用合併処理浄化槽（10人槽以下）管理者
目的	合併処理浄化槽維持管理費補助金を交付することにより、合併処理浄化槽の適正な管理の促進を図る。
手段	公共下水道供用開始区域及び農業集落排水処理開始区域を除いた区域に設置された居住用合併処理浄化槽（10人槽以下）管理者に対して、浄化槽法第7条第1項（新設）又は第11条第1項（毎年）の検査を受検し、同法第10条第1項に規定する保守点検及び清掃を実施していることを支給条件に入槽別に合併処理浄化槽維持管理費補助金を交付する。
その他	補助対象区域内の居住用合併処理浄化槽（10人槽以下）管理者に対して、浄化槽法第7条第1項又は第11条第1項の検査を受検し、同法第10条第1項に規定する保守点検及び清掃を実施していることを支給条件に入槽別に合併処理浄化槽維持管理費補助金を交付する。

### 【コスト】

	(単位：千円)							
	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額	令和 6年度 計画額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	
トータルコスト	64,010	60,973	53,000	47,424	0	0	0	
事業費	53,761	50,586	53,000	47,424	0	0	0	
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	16,475	15,621	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	37,286	34,965	53,000	47,424	0	0	0	
人件費計	10,249	10,387	0	0	0	0	0	
一般職員（人）	1.09	1.00	1.09	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度嘱託職員（人）	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	

### 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-01-09-01-00-00	合併処理浄化槽維持管理費補助事業	環境部環境推進課

# 事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
 所属 302000 環境部環境推進課  
 短縮番号 00983 合併処理浄化槽維持管理費補助事業

### 【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
浄化槽法第7条実施率 (法定検査受検率)	%	89.90 124.70	90.70 92.10	91.60 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	
補助件数	件	3,704.00 3,380.00	3,689.00 3,186.00	3,313.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	
浄化槽法第11条実施率 (法定検査受検率)	%	58.40 57.60	60.30 60.40	62.40 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	

### 【定性評価】

1	事中評価	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
				5	4	
1	事中評価	事業の優先度	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
				4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
				3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
				2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
				1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	事中評価	事業の必要性	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
				4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
				3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
				2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
				1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	事業主体の妥当性	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
				4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
				3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
				2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
				1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	事中評価	事業の対象者	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	3
				4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
				3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
				2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
				1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	市民ニーズの把握	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	3
				4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
				3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
				2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
				1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

### 【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)			

### 【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

# 事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
 所属 3020000 環境部環境推進課  
 短縮番号 01912 汚泥再生処理センター整備事業

### 【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画/後期基本計画		
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち		
政策達成課題	002	生活環境を保全する		
施策	002	生活排水を適切に処理する		
施策達成課題	001	生活排水を適切に処理する		
基本事務事業	020	汚泥再生処理センター整備事業		
詳細事務事業	001	汚泥再生処理センター整備事業		

事業期間	令和 3年度 ~ 令和12年度	10 年間			
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
課題・分析	令和3年度策定中の「循環型社会形成推進地域計画」に基づき、施設整備に必要な業務を進めていく。 令和4年度は、「汚泥再生処理センター施設整備基本計画」の策定と「生活環境影響調査業務（環境アセスメント）」を実施。 令和5年度は、用地測量調査、ボーリング・埋設物調査業務を委託する。

### 【事業分析】

対象	汚泥再生処理センター（第一水光園の更新施設）
目的	「汚泥再生処理センター」を本計画に位置付けた施設整備とすることで、循環型社会形成推進交付金（国庫補助）対象とする。
手段	令和5年度は、用地測量調査、ボーリング・埋設物調査業務を委託する。
その他	

### 【コスト】

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	4,367	32,867	14,000	16,491	0	0	0
事業費	1,650	29,073	14,000	16,491	0	0	0
国庫支出金	0	9,533	4,666	3,466	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,650	19,540	9,334	13,025	0	0	0
人件費計	2,717	3,794	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.36	0.50	0.52	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

### 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-03-04-01-00-00	汚泥再生処理センター整備事業	環境部環境推進課

# 事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
 所属 3020000 環境部環境推進課  
 短縮番号 01912 汚泥再生処理センター整備事業

### 【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	

### 【定性評価】

1	事中評価	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
				5	4	
1	事中評価	事業の優先度	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
				4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
				3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
				2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
				1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	事中評価	事業の必要性	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
				4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
				3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
				2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
				1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	事業主体の妥当性	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
				4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
				3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
				2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
				1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	事中評価	事業の対象者	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	4
				4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
				3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
				2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
				1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	市民ニーズの把握	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	3
				4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
				3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
				2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
				1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

### 【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)			

### 【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

# 事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
 所属 302000 環境部環境推進課  
 短縮番号 00324 環境美化推進員充実事業

### 【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち			
政策達成課題	003	ごみの発生を抑制し、再利用を促進する			
施策	001	5Rを推進する			
施策達成課題	001	5Rを推進する			
基本事務事業	001	環境美化推進員充実事業			
詳細事務事業	001	環境美化推進員充実事業			

事業期間	平成25年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等 熊谷市環境美化推進員設置要綱  
 指数は、環境美化推進員の研修参加者数になっており、概ね目標値を達成した。

### 課題・分析

### 【事業分析】

対象	環境美化推進員
目的	住みよい美しい街づくりと快適な生活環境を保全することを目的とする。
手段	各自治会から推薦された方を環境美化推進員として委嘱し、地域の環境美化（ごみ分別の徹底・ごみ減量・リサイクル）推進を支援する。
その他	

### 【コスト】

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	7,233	6,817	3,147	3,207	0	0	0
事業費	3,082	2,644	3,147	3,207	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,082	2,644	3,147	3,207	0	0	0
人件費計	4,151	4,173	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.55	0.55	0.55	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

### 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-06-01-00-00	環境美化推進員充実事業	環境部環境推進課

# 事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
 所属 302000 環境部環境推進課  
 短縮番号 00324 環境美化推進員充実事業

### 【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
環境美化推進員研修会の開催	回	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
環境美化推進員研修会の参加者数	人	310.00 0.00	310.00 0.00	310.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

### 【定性評価】

1	事中評価	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
				5	4	
1	事中評価	事業の優先度	5 4 3 2 1	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
				4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
				3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
				2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
				1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	事中評価	事業の必要性	5 4 3 2 1	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
				4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
				3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
				2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
				1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	事業主体の妥当性	5 4 3 2 1	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
				4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
				3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
				2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
				1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	事中評価	事業の対象者	5 4 3 2 1	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	2
				4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
				3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
				2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
				1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	市民ニーズの把握	5 4 3 2 1	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	2
				4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
				3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
				2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
				1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

### 【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)			

### 【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

# 事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
所属 302000 環境部環境推進課  
短縮番号 00330 ごみ減量対策事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画/後期基本計画
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち
政策達成課題	003	ごみの発生を抑制し、再利用を促進する
施策	001	5Rを推進する
施策達成課題	001	5Rを推進する
基本事務事業	005	ごみ減量対策事業
詳細事務事業	001	ごみ減量対策事業

事業期間	平成20年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 循環型社会形成推進基本法 資源有効利用促進法  
ごみ減量等、目標値に届いておらず、今後食品ロスや事業系一般廃棄物の削減等新たな施策を展開していく。

課題・分析

【事業分析】

対象	市民・NPO法人
目的	5R（リフューズ・リデュース・リユース・リペア・リサイクル）を基本とする循環型社会の構築。
手段	生ごみ処理容器等の購入費補助、生ごみ再資源化の業務委託、ごみ減量の啓発（マイバグの使用他）等
その他	

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	10,556	3,827	4,311	4,734	0	0	0
事業費	4,065	3,827	4,311	4,734	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,065	3,827	4,311	4,734	0	0	0
人件費計	6,491	0	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.86	1.03	1.03	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-02-05-01-00-00	ごみ減量対策事業	環境部環境推進課

# 事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
所属 302000 環境部環境推進課  
短縮番号 00330 ごみ減量対策事業

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
生ごみ処理容器購入補助対象数	基	150.00	150.00	150.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		108.00	90.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイバグを利用している市民の割合	%	62.00	62.00	62.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		83.10	80.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
市民一人一日あたりのごみ排出量	g	1,060.00	1,050.00	1,038.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		1,083.00	1,070.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
資源物回収率	%	23.90	24.00	24.20	0.00	0.00	0.00	0.00
		20.90	20.12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある
		4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある
		3	どちらかといえば、実施したほうがよい
		2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり
		1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した
理由			
2 事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである
		4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである
		3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである
		2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである
		1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する
理由			
3 事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし
		4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ
		3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している
		2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る
		1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る
理由			
4 事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である
		4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体
		3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である
		2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である
		1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である
理由			
5 事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している
		4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している
		3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している
		2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している
		1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない
理由			

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)			

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

# 事務事業評価シート1

評価年度 令和4年度 進捗区分 2次評価  
所属 3020000 環境部環境推進課  
短縮番号 00331 リサイクル活動推進事業

### 【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画/後期基本計画		
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち		
政策達成課題	003	ごみの発生を抑制し、再利用を促進する		
施策	001	5Rを推進する		
施策達成課題	001	5Rを推進する		
基本事務事業	006	リサイクル活動推進事業		
詳細事務事業	001	リサイクル活動推進事業		

事業期間	平成20年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等 熊谷市リサイクル活動推進奨励金交付要綱  
令和4年度は、令和3年度と比較し回収量が減少した。

### 課題・分析

### 【事業分析】

対象	日常生活から排出される廃棄物のうち、再利用できる資源を集団回収し、かつ市内に住所を有し営利を目的としない団体
目的	資源再利用の推進及びごみ減量化を図り、もって、生活環境の保全に資することを目的とする。
手段	廃棄物を資源として回収する団体に対し、（紙類・金属類・布類・ビン類・廃食用油、家庭系生ごみ）1（kg・ℓ）あたり3円の奨励金を交付する。（平成28年9月までは4円）
その他	

### 【コスト】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	7,111	7,392	8,010	8,010	0	0	0
事業費	5,602	5,344	8,010	8,010	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,602	5,344	8,010	8,010	0	0	0
人件費計	1,509	2,048	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.20	0.27	0.27	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

### 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-02-06-01-00-00	リサイクル活動推進事業	環境部環境推進課

# 事務事業評価シート2

評価年度 令和4年度 進捗区分 2次評価  
所属 3020000 環境部環境推進課  
短縮番号 00331 リサイクル活動推進事業

### 【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
実施団体数	件	200.00	200.00	200.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		169.00	163.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
回収量	t	3,000.00	3,000.00	3,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		1,867.00	1,778.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

### 【定性評価】

1	事中評価	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
				5	4	
		事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4	
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある		
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい		
			2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり		
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した		
	理由					
	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4	
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである		
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである		
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである		
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する		
	理由					
	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4	
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ		
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している		
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る		
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る		
	理由					
	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	3	
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体		
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である		
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である		
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である		
	理由					
	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	3	
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している		
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している		
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している		
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない		
	理由					

### 【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)			

### 【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

# 事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
 所属 302000 環境部環境推進課  
 短縮番号 00333 廃棄物対策事業

### 【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画		
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち		
政策達成課題	003	ごみの発生を抑制し、再利用を促進する		
施策	001	5Rを推進する		
施策達成課題	001	5Rを推進する		
基本事務事業	008	廃棄物対策事業		
詳細事務事業	001	廃棄物対策事業		

事業期間	平成20年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 熊谷市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例  
 評価指数である不法投棄の苦情処理件数が若干減少した。

### 課題・分析

### 【事業分析】

対象	市民
目的	住みよい住環境を保全するため不法投棄の監視と、事案への対応を行う。一般廃棄物を適正に処理するため、処理業者に対する収集運搬・処分の許可事務を行う。また、一般廃棄物を効率よく処理し、ごみ減量とリサイクルの推進により循環型社会を構築する。
手段	事業系一般廃棄物を適正に処理するため、収集運搬業者へ許可を付与し、公衆衛生や環境の保全を図る。廃棄物の不法投棄を未然防止し、快適な生活環境を維持する。県と連携し産業廃棄物の山を監視することにより、不法投棄廃棄物の増加や早期発見、未然防止を図る。一般廃棄物を円滑に処理するため、実施計画等を策定する。
その他	

### 【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	14,995	15,366	749	18,118	0	0	0
事業費	654	873	749	18,118	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	355	0	355	0	0	0	0
一般財源	299	873	394	18,118	0	0	0
人件費計	14,341	14,493	0	0	0	0	0
一般職員(人)	1.90	1.91	1.91	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

### 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-02-08-01-00-00	廃棄物対策事業	環境部環境推進課

# 事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
 所属 302000 環境部環境推進課  
 短縮番号 00333 廃棄物対策事業

### 【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
不法投棄の苦情処理件数	件	50.00	50.00	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
不法投棄監視パトロール数	回	12.00	12.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

### 【定性評価】

1	事中評価	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
				5	4	
1	事中評価	事業の優先度	5 4 3 2 1	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
				4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
				3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
				2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
				1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	事中評価	事業の必要性	5 4 3 2 1	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
				4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
				3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
				2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
				1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	事業主体の妥当性	5 4 3 2 1	5	他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	5
				4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
				3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
				2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
				1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	事中評価	事業の対象者	5 4 3 2 1	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
				4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
				3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
				2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
				1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	市民ニーズの把握	5 4 3 2 1	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	3
				4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
				3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
				2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
				1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

### 【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント(400文字)	令和6年度は新たに塩地内違法堆積、土量計算業務委託(3次元点群測量)およびセンサー形式による堆積監視業務委託を行う。		

### 【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント(400文字)			



# 事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
 所属 3040000 環境部環境美化センター  
 短縮番号 00332 リサイクルフェア事業

### 【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画/後期基本計画		
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち		
政策達成課題	003	ごみの発生を抑制し、再利用を促進する		
施策	001	5Rを推進する		
施策達成課題	001	5Rを推進する		
基本事務事業	007	リサイクルフェア事業		
詳細事務事業	001	リサイクルフェア事業		

事業期間	平成27年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等 熊谷市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例・廃棄物の処理及び清掃に関する法律  
 リサイクルフェアの来場者数は、会場の広さや駐車場の問題、リサイクル品の回収量等を考慮すると数の増加に  
 限界がある。新型コロナウイルス感染症対策が必要なことから、ウェブ応募等による抽選販売を行った。

### 課題・分析

### 【事業分析】

対象	市民
目的	ごみの減量化、資源消費の抑制、ごみの再利用・分別等の意識の向上を図る。
手段	ごみとして排出された利用可能なものを修繕し、安価にて展示販売する。
その他	例年は春と秋に開催（自転車、家具、衣類、古本等の展示販売）するが、令和4年度は新型コロナウイルスの感 染症の感染拡大を予防するため、春、秋ともにウェブ応募等による抽選販売により、春は自転車25点他を販売、 秋は自転車22点他を販売した。

### 【コスト】

	(単位：千円)						
	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額	令和 6年度 計画額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額
トータルコスト	22,767	9,809	414	414	0	0	0
事業費	123	173	414	414	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	123	99	414	0	0	0	0
一般財源	0	74	0	414	0	0	0
人件費計	22,644	9,636	0	0	0	0	0
一般職員(人)	3.00	1.27	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

### 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-02-02-07-01-00-00	リサイクルフェア事業	環境部環境美化センター

# 事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
 所属 3040000 環境部環境美化センター  
 短縮番号 00332 リサイクルフェア事業

### 【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
リサイクルフェアの開 催	回	2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
リサイクルフェア来場 者数	人	2,500.00 139.00	2,500.00 117.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

### 【定性評価】

1	事中評価	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
				5	4	
1	事中評価	事業の優先度	5 4 3 2 1	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
				4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
				3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
				2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
				1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	事中評価	事業の必要性	5 4 3 2 1	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
				4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
				3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
				2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
				1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	事業主体の妥当性	5 4 3 2 1	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	3
				4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
				3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
				2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
				1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	事中評価	事業の対象者	5 4 3 2 1	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
				4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
				3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
				2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
				1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	市民ニーズの把握	5 4 3 2 1	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	3
				4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
				3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
				2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
				1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

### 【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント (400文字)		

### 【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント (400文字)		

# 事務事業評価シート1

評価年度 令和4年度 進捗区分 2次評価  
 所属 3010000 環境部環境政策課  
 短縮番号 00952 温暖化防止活動推進センター事業

### 【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画/後期基本計画	
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち	
政策達成課題	004	地球温暖化対策を推進する	
施策	001	ゼロカーボンシティ宣言を着実に推進する	
施策達成課題	001	ゼロカーボンシティ宣言を着実に推進する	
基本事務事業	009	温暖化防止活動推進センター事業	
詳細事務事業	001	温暖化防止活動推進センター事業	

事業期間	平成25年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律第38条				
課題・分析	温暖化防止活動推進センターの活性化。広く活動を知ってもらうよう積極的にPRし、自主的に活発な活動を促していく。				

### 【事業分析】

対象	市民等				
目的	本市の地球温暖化対策の普及・啓発を推進する				
手段	熊谷市地球温暖化防止活動推進センターの指定を行い、温暖化防止関連講演会、温暖化対策の相談事業等を実施する。なお、指定について、一定の要件を満たすNPO法人から公募、選定委員会の決定を受けて指定し、運営に対して補助金を交付する。				
その他					

### 【コスト】

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	3,104	4,095	2,388	2,454	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業費	2,350	2,350	2,388	2,454	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,350	2,350	2,388	2,454	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	754	1,745	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般職員(人)	0.10	0.23	0.23	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-32-01-00-00	温暖化防止活動推進センター事業	環境部環境政策課

# 事務事業評価シート2

評価年度 令和4年度 進捗区分 2次評価  
 所属 3010000 環境部環境政策課  
 短縮番号 00952 温暖化防止活動推進センター事業

### 【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
温暖化防止関連宅配講座の開催回数	回	6.00 9.00	6.00 10.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
宅配講座への参加者数	人	180.00 340.00	180.00 195.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
センター窓口開設日数	日	190.00 243.00	190.00 243.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
温暖化防止関連相談件数	件	200.00 275.00	200.00 396.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

### 【定性評価】

1	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
			5	4	
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由					
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由					
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由					
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由					
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	5
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由					

### 【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント(400文字)	NPO法人エコネットくまがやが指定団体としてセンター事業運営及び温暖化対策事業実施しており、更に新たな事業に取り組めるよう支援していく。本補助金はセンターの運営管理費など固定経費を対象としているが、産学官連携等の取組を想定し、補助金の増大を見込む。		

### 【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント(400文字)			

# 事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
 所属 3010000 環境部環境政策課  
 短縮番号 01806 「暑さ対策」外付け日よけアシスト事業

【基本情報】	
計画回数	04 第二次総合振興計画/後期基本計画
政策	004 環境にやさしく自然が豊かなまち
政策達成課題	004 地球温暖化対策を推進する
施策	001 ゼロカーボンシティ宣言を着実に推進する
施策達成課題	001 ゼロカーボンシティ宣言を着実に推進する
基本事務事業	011 「暑さ対策」外付け日よけアシスト事業
詳細事務事業	001 「暑さ対策」外付け日よけアシスト事業

事業期間	令和 4年度 ~ 令和 4年度	1 年間			
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画使用欄		事業の分類			

根拠法令等	熊谷市外付け日よけ設置費補助金交付要綱
課題・分析	市場には多くの外付け日よけ用の商品が流通しており、補助金対象になるものにならないものの線引きが難しい。より多くの市民に日よけ設置を促すための補助金制度であるため、ものによっては個別に検討する必要もある。

【事業分析】	
対象	市内における住宅用の窓に外付け日よけを設置した市民を対象とする。
目的	室内での熱中症対策を推進するとともに、省エネルギー効果もあるため、地球温暖化対策としても有効と捉えている。
手段	市内において、住宅の窓に室内温度上昇の抑制効果の高い「外付け日よけ」を設置した市民に対し、その費用の一部を補助する。
その他	

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		1,295	1,954	500	500	0	0	0
事業費		541	361	500	500	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		541	361	500	500	0	0	0
人件費計		754	1,593	0	0	0	0	0
一般職員(人)		0.10	0.21	0.22	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-62-01-00-00	「暑さ対策」外付け日よけアシスト事業	環境部環境政策課

# 事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
 所属 3010000 環境部環境政策課  
 短縮番号 01806 「暑さ対策」外付け日よけアシスト事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
外付け日よけ設置費補助金交付件数	件	100.00	50.00	50.00	50.00	0.00	0.00	0.00
		36.00	39.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	5
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【1次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント(400文字)			

【2次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント(400文字)			

# 事務事業評価シート1

評価年度 令和4年度 進捗区分 2次評価  
 所属 3010000 環境部環境政策課  
 短縮番号 00939 「温暖化対策」太陽光発電等普及推進事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画	
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち	
政策達成課題	004	地球温暖化対策を推進する	
施策	002	再生可能エネルギー施策を推進する	
施策達成課題	001	再生可能エネルギー施策を推進する	
基本事務事業	004	「温暖化対策」太陽光発電等普及推進事業	
詳細事務事業	001	「温暖化対策」太陽光発電等普及推進事業	

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等 熊谷市再生可能エネルギー・省エネルギー設備設置費補助金要綱

課題・分析 太陽光発電システムは、設備の普及及び売電価格の下落に伴い設置数に増減が見られたが、設置費用の低価格化等により近年は増加している。また、平成21年11月に始まったFIT制度（固定価格買取制度）の期間満了に伴い、余剰売電から自家消費に切り替える家庭が多く、蓄電システムの設置数が非常に増えている。

【事業分析】

対象	太陽光発電システムを新たに設置した市民・事業者 燃料電池コージェネレーションシステム（エネファーム）、太陽熱利用システム、家庭用蓄電池、HEMSを設置した市民
目的	CO2の削減により地球温暖化防止に寄与する。
手段	太陽光発電システム、燃料電池コージェネレーションシステム、太陽熱利用システム、家庭用蓄電池、HEMSを設置する市民等に対して補助金を交付する。
その他	

【コスト】 (単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	27,862	31,118	25,240	30,240	0	0	0
事業費	25,447	28,363	25,240	30,240	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	25,447	28,363	25,240	30,240	0	0	0
人件費計	2,415	2,755	0	0	0	0	0
一般職員(人)	0.32	0.34	0.43	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-44-01-00-00	「温暖化対策」太陽光発電等普及推進事業	環境部環境政策課

# 事務事業評価シート2

評価年度 令和4年度 進捗区分 2次評価  
 所属 3010000 環境部環境政策課  
 短縮番号 00939 「温暖化対策」太陽光発電等普及推進事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
太陽光発電システム補助金交付件数	件	300.00	300.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		187.00	209.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
家庭用燃料電池システム(エネファーム)補助金交付件数	件	60.00	60.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		34.00	27.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク	
1 事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
		4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
		3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
		2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
		1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由				
2 事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
		4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
		3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
		2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
		1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由				
3 事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	4
		4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
		3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
		2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
		1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由				
4 事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	4
		4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
		3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
		2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
		1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由				
5 事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	3
		4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
		3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
		2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
		1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由				

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント(400文字)	補助金申請においては、もともと申請件数の多い太陽光発電システムで前年比111%、蓄電システムも前年比116%となった。環境に対する市民の意識も年々高まっており、当該事業は予算を拡大し展開する必要があると思われる。	

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント(400文字)		

# 事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
 所属 3010000 環境部環境政策課  
 短縮番号 01308 「総合戦略」スマートハウス補助事業

### 【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画/後期基本計画		
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち		
政策達成課題	004	地球温暖化対策を推進する		
施策	002	再生可能エネルギー施策を推進する		
施策達成課題	001	再生可能エネルギー施策を推進する		
基本事務事業	001	「総合戦略」スマートハウス補助事業		
詳細事務事業	001	「総合戦略」スマートハウス補助事業		

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定外事務		

根拠法令等 熊谷市総合振興計画、熊谷市環境基本計画、補助金交付要綱

課題・分析	
-------	--

### 【事業分析】

対象	市内において「創エネ」「省エネ」「蓄エネ」「エネルギーの見える化」設備等を備えたスマートハウスを新築又は購入した市民
目的	エネルギーを地産地消するまちづくりを市内全域において推進し、地球温暖化対策に資することを目的とする。
手段	「創エネ」「省エネ」「蓄エネ」「エネルギーの見える化」設備等を備えたスマートハウスを新築又は購入した市民に対し一律30万円（令和2年度以前は50万円）を補助する。（うち15万円分（令和2年度以前は25万円分）を「まち元氣」熊谷市商品券で交付する。）
その他	

### 【コスト】

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	13,062	8,948	15,000	15,000	0	0	0
事業費	11,100	6,900	15,000	15,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	3,000	3,000	3,000	1,200	0	0	0
一般財源	8,100	3,900	12,000	13,800	0	0	0
人件費計	1,962	2,048	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.26	0.27	0.28	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

### 【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-48-01-00-00	「総合戦略」スマートハウス補助事業	環境部環境政策課

# 事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
 所属 3010000 環境部環境政策課  
 短縮番号 01308 「総合戦略」スマートハウス補助事業

### 【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
補助金交付件数	件	50.00	50.00	50.00	50.00	0.00	0.00	0.00	
		37.00	23.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

### 【定性評価】

1	事中評価	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
				5	1	
1	事中評価	事業の優先度	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
				4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
				3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
				2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
				1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	事中評価	事業の必要性	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
				4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
				3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
				2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
				1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	事業主体の妥当性	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
				4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
				3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
				2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
				1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	事中評価	事業の対象者	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
				4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
				3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
				2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
				1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	市民ニーズの把握	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	3
				4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
				3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
				2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
				1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

### 【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)			

### 【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

# 事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
 所属 3010000 環境部環境政策課  
 短縮番号 01674 「温暖化対策」電気自動車充電設備普及推進事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画	
政策	004	環境にやさしく自然が豊かなまち	
政策達成課題	004	地球温暖化対策を推進する	
施策	002	再生可能エネルギー施策を推進する	
施策達成課題	001	再生可能エネルギー施策を推進する	
基本事務事業	008	「温暖化対策」電気自動車充電設備普及推進事業	
詳細事務事業	001	「温暖化対策」電気自動車充電設備普及推進事業	

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等 熊谷市電気自動車充電設備設置費補助金交付要綱  
 国が電気自動車の普及を推進しており、今後は本市の補助金申請も増加するものと思われる。

課題・分析

【事業分析】

対象	電気自動車充電設備を新たに設置した市民
目的	電気自動車を蓄電池として住宅から充電できる設備を設置することにより、節電効果や、非常時の電源として活用することができる。
手段	電気自動車充電設備を設置する市民に対して補助金を交付する
その他	

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	979	1,506	500	1,250	0	0	0
事業費	149	596	500	1,250	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	149	596	500	1,250	0	0	0
人件費計	830	910	0	0	0	0	0
一般職員(人)	0.11	0.12	0.13	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-04-01-03-57-01-00-00	「温暖化対策」電気自動車充電設備普及推進事業	環境部環境政策課

# 事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価  
 所属 3010000 環境部環境政策課  
 短縮番号 01674 「温暖化対策」電気自動車充電設備普及推進事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
充電設備補助金交付件数	件	3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		3.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク	
1 事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
		4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
		3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
		2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
		1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由				
2 事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
		4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
		3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
		2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
		1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由				
3 事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	4
		4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
		3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
		2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
		1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由				
4 事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	4
		4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
		3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
		2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
		1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由				
5 事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	4
		4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
		3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
		2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
		1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由				

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント(400文字)	国が電気自動車を積極的に推進するようになり、補助金申請が大幅に増加した。今後も引き続き、設備設置を後押しするよう事業に取り組む必要がある。	

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント(400文字)		